

えとせとら



3年生のみなさん、卒業おめでとうございます

みなさんが入学して早3年。豊高での3年間を振り返ってどうでしたか。自分の目標に向かって、勉強、部活動など最後までやり遂げることができましたか。入学して間もなく始まった読書タイムでは、1日たった10分ではありましたが、3年間続けることができましたね。読書を通じて、得るものがありましたか。1日10分だけでも、心を落ち着かせ、ゆったりした時間がもてるのは、よいものです。せっかく身についた習慣ですので、卒業しても、ぜひ続けてください。

これから先、みなさんの進む道はそれぞれ違います。どんなことにも負けず、常に目標を持って、それが達成できるようがんばってください。

3年生 多読賞 (令和6年2月15日まで)

1位	Y・N (303冊)
2位	H・S (125冊)
3位	T・M (120冊)
4位	U・T (114冊)

豊高50冊も読破!!

卒業証書

3年間で図書館の本をたくさん借いた人たちです。豊高では、100冊以上借いた人を“多読賞”として表彰します。今年は4名の方が表彰されます。おめでとう!

～3年生からのメッセージ～

3年 Y・N

私は小さいころから本が身近にある環境にいたため、自然と本をよく読む人間に育ちました。『読書観』などという言葉は大げさですが、私にとって本は、自分の世界を広げてくれるものです。知識や経験など私が知らないことが本にはたくさん書いてあります。高校生活でも多くの本を読みました。豊高50冊には、普段自分からは手に取らない本も多く含まれていました。正直、読みにくいと思う本もありましたが、それよりも今まで知らなかった本に出会えたことが嬉しかったです。本を読むことで世界が広がり、一つのことを多くの視点で考えられることは、きっと自分自身の感性を豊かにしてくれると思います。



私は、高校に入るまで、本を読むのは中学校の朝の読書タイムの時だけでした。本を読むことは好きでしたが、学校で借りた本を持って帰るのが面倒臭いと思っていました。なので、話の続きはいつも翌日の朝までおあずけでした。

高校に入学した後、初めての図書委員の当番日、何気なく手に取った、東野圭吾さんの『マスカレードホテル』。映画化もされた有名な作品だと言うこともあって、読んでみると、時間を忘れるほど没頭していました。まるでその場に居るかのように錯覚する展開と言葉選びは、いつまで読んでも飽きがきませんでした。私はその日、初めて本を持ち帰ることをイヤに思わず、夢中になって読み続けました。どんな本なら没頭できるかはわかりませんが、開いてみたら何か感じるものがあると思います。没頭できる本と出会う第一歩は、本を避けないことからです。



《1月、2月の図書館企画》 担当:2年図書委員

受験に向け、図書館から3年生にエールを送りました。

図書館前のメッセージボードに1、2年生が3年生へ応援の言葉を書きました。どうか全員合格できますように!! また、『絵馬コーナー』は、みんなの願い事が書かれた絵馬でいっぱいになりました。



*** 春季特別貸出のおしらせ ***

借りに来てね!

3月6日(水)からひとり5冊まで借りることができます。返却は4月9日(始業式)

